



すこやか

第42号

2013/4/30

編集:市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行:市立伊丹病院 TEL:072-777-3773

http://www.hosp.itami.hyogo.jp/

人工関節センター開設

市立伊丹病院では平成25年4月1日から、「人工関節センター」を開設致しました。

整形外科外来と併設する「人工関節センター」は患者指導室と人工股関節置換術をうける方を対象とした講習会（ももの会）を開催するために、大型スクリーンを備えた部屋があります。また、股関節や膝関節が悪い方で使用し易い多目的トイレも備えております。

当センターでは、安全で質の高い手術療法を患者の皆さまに提供するため、整形外科医師9名が診療に当たっております。近年の高齢化社会の到来により、変形性関節症が増加し人工関節置換術の必要性が高まっています。実際に下記の表に示しますように、当整形外科での人工関節置換術の手術件数は年々増加しております。

平成 術式	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
人工股関節置換術	45例	76例	123例	119例	192例
人工膝関節置換術	69例	123例	191例	220例	216例



整形外科主任部長 兼 人工関節センター長
兼 医療安全管理室部長

なかい つよし
中井 毅

関節疾患の多くは、ゆっくりと症状が進行するために“年だから”とか“手術が怖いから”とあきらめてしまう方が少なからずいらっしゃいます。

症状が進むと、関節の痛みや、歩く、座るなどの日常生活に支障をきたし、寝たきりになるなど深刻な問題につながるケースもあります。治療の基本は、手術を行わない保存的治療です。生活習慣を見直し、とりすぎないよう体重をコントロールすることや、下肢の筋力訓練が大切です。症状が進行した場合には人工関節置換術が必要となります。当センターでは患者さまが安心して手術をうけられることができるように股関節や膝関節の模型・実際の人工関節・関節に人工関節を設置した模型などを用いて、ご自分の病気の状態・治療方法を十分にご説明しております。また、筋肉などの組織を極力温存する低侵襲の手術により、患者さまの体にかかる負担を軽減する手術方法を行っております。これにより、術後のリハビリテーションも早期に開始でき、早期退院・早期社会復帰が可能になりました。一般的な入院期間は2～3週間です。手術後の痛みを不安に思う患者さまがおられますが、十分な除痛対策をしておりますので、過度な心配は不要です。

市立伊丹病院の“人工関節センター”では“安全で質の高い医療を安心して受けていただく”をモットーに医師、看護師、理学療法士、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、事務職員一同努力し、地域医療に貢献していきたいと考えております。

脳神経外科診療の充実

脳神経外科が再び仲間入り

平成25年4月より市立伊丹病院に着任しました。平成19年より当科に常勤医不在で伊丹市民の皆様にはご心配をかけてまいりましたが、これからは、常時対応してまいります。

■ 当科の紹介

脳神経外科は大きく4つの分野を扱います。それは、脳卒中を含む脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、および大脳の機能性疾患の4つです。そのうち、脳卒中、脳腫瘍、てんかんを3本の柱に診療を展開していきます。

クモ膜下出血や脳出血、脳梗塞などの脳卒中では、重篤な後遺症や生命の危険にさらされることがあり、時間との戦いとなります。MRIやCTを積極的に活用し、診断と治療を行っていきます。「少し様子を見ておこう」は不要です。また、一過性脳虚血発作には、その後に脳卒中を発症する危険性をはらんでいます。突然発症した手足の麻痺、呂律障害は、「かかりつけ医」の先生に必ずご相談してください。当科へは紹介状をもって受診していただくのが理想ですが、そのために「待つ」必要はありません。ぜひ、お薬手帳を持って、受診してください。時間外であっても対応しています。

徐々に悪化する頭痛やふらつき、けいれんなどを自覚したことはありませんか？脳腫瘍が潜んでいるかもしれません。脳腫瘍に対しては手術で摘出することが第一の治療法になります。当院は、患者様の頭部のMRIから、「脳の地図」を作成し、ナビゲーターを用いた手術加療で合併症を減らし、大量の腫瘍摘出をめざす質の高い手術を展開します。

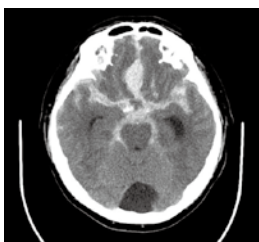
てんかんに関しては、内服から手術加療まで対応できる関西でも数少ない施設として、広く近畿一円からの受け入れを行います。新規抗てんかん薬を用いた内服治療から、難治性てんかんのビデオ脳波を用いた診断、てんかんの手術治療や迷走神経刺激療法まで積極的に治療をしていきます。また、患者さんへの自動車免許の取得などの相談・指導だけでなく、近隣の先生方への啓蒙活動も行っています。

まず、今後一年間程度を目標に一般的な脳神経外科を軌道にのせ、「話がきける」脳神経外科を構築してまいります。

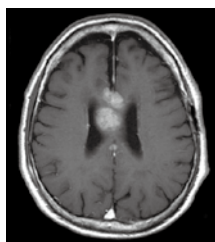


脳神経外科主任部長

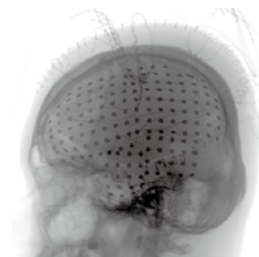
にのみや ひろとも
二宮 宏智



CT：くも膜下出血の一例



MRI：悪性脳腫瘍の一例



X-p：てんかん手術の一例



ジェネレーター：迷走神経刺激装置 (VNS)

レシピ紹介を始めました～栄養管理担当～

春野菜を使った減塩メニュー

減塩春野菜編！

減塩効果のある野菜のレシピをいくつか紹介いたします。春野菜の中でも減塩効果のある野菜にセロリがあります。

セロリは減塩効果のあるカリウムが多く含まれています。カリウムは余分な塩分を排出し、高血圧や動脈硬化を予防します。また青々とした葉の中にはたくさんのビタミンやミネラルが含まれています。セロリに含まれるβカロテンは、体内でビタミンAに変換される脂溶性ビタミンですので、少し油を使い炒めるなどすると吸収がよくなります。

G
1人分

材料の紹介
セロリ 100 g
ごま油 10 g
砂糖 2.5 g
めんつゆ 5 g

セロリの金平風
レシピ

- ①セロリは斜め切りに食べやすい大きさに切る
- ②①をゴマ油で炒める
- ③色が鮮やかになったら砂糖、めんつゆを入れ、さっと炒める



人物紹介

平成 25 年 4 月より
医療技術部に勤務



栄養管理担当 主幹
いわさ みなこ
岩佐 美奈子

外食産業や病院での調理業務などを経験、地域密着型病院や療養型病院、急性期型病院などで給食管理業務から栄養管理業務まで幅広く職歴を重ねてきました。また老健施設在職中には、歯科衛生士と食事介助をしながら栄養業務に携わるなど他職種の方とも積極的にかかわってきました。これまでの経験を活かし、チーム医療に貢献し、患者さまを栄養面からサポートしていきます。



G
1人分

材料の紹介
セロリ 50 g
マグロフレーク 30 g
マヨネーズ 15 g
めんつゆ 1 g

セロリのマヨネーズ和え
レシピ

- ①セロリは斜め切りにして食べやすい大きさに切る
- ②さっとボイルしてから、マグロフレークとマヨネーズで和える

地域医療連携室のリニューアルオープン



地域医療連携室

昨年末より工事のため患者さんにご迷惑をおかけしていましたが、4月より正面玄関にリニューアルオープンをいたしました。その内容としては、患者さんが在宅で安心して療養していただけるように患者さんと御家族、在宅医療・保健・福祉の担当者と病院スタッフが集まり、落ち着いて話し合いができる部屋が新設されました。

地域医療連携室では患者さんが満足できる適正で質の高い医療を提供するために、地域医療機関と連携を密にし、紹介患者さんの受入れ、専門的医療の支援、受診後の速やかな報告や情報提供などを行っております。また病気や介護に関することや退院後の

生活に対する不安、医療費・施設や療養型病院への入院相談などの窓口相談は、看護師やメディカル・ソーシャル・ワーカーがお受けしております。お気軽にご相談ください。

日本医療機能評価認定病院になりました

日本病院機能評価機構(JCQHC)の病院機能評価6.0版を受審して許可を受けました

皆さんは「病院機能評価」というものをご存じでしょうか？皆さんに馴染みがあるJIS規格は“工業化の促進を目的とする工業標準化法(昭和24年)に基づき制定される国家規格”(日本工業標準調査会2013ホームページより)です。

医療機能評価もサービスの質を担保するために設立された公益法人JCQHCが行っている事業です。この承認がなされた施設は一定以上のサービスを提供できる条件が備えられていることを保証されます。5年間この承認を維持する努力も課せられています。市民の皆さんからのさらなる改善の提案を積極的に受け入れて活動する制度も院内に整備しています。忌憚(きたん)ないご意見とともにご支援をお願いします。



病院機能評価 Ver.6.0 認定証

医師 人事異動のお知らせ

採用		退職	
平成 25 年 4 月 1 日		平成 25 年 3 月 31 日	
脳神経外科 主任部長	ニノミヤ ヒロトモ 二宮 宏智	老年内科 部長	ナカガワ ユウスケ 中川 雄介
消化器内科 医長	アケタ ヒロシ 明田 寛史	産婦人科 部長	ヤギ ミサ子 八木 美佐子
アレルギー疾患リウマチ科 副医長	カタシマ ユキ 片嶋 有希	産婦人科 副医長	ヤスイ ユウリ 安井 悠里
産婦人科 医員	クロダ ヒロマサ 黒田 浩正	呼吸器内科 医員	タカタ テツオ 高田 哲男
アレルギー疾患リウマチ科 専攻医	タムラ マサオ 田村 誠朗	血液内科 専攻医	タカハシ マサアキ 高橋 雅文
整形外科 専攻医	オリト リョウ 折戸 良	小児科 専攻医	カワムラ コウジ 川村 孝治
外科 専攻医	サソウ カズヒロ 笹生 和宏	呼吸器内科 専攻医	マツナガ ニンソウ 松永 仁綜
外科 専攻医	ヤギ トモ子 八木 智子	小児科 専攻医	ヤマモト ショウタ 山本 翔大
外科 専攻医	ヤマダ モユル 山田 萌	整形外科 専攻医	オオニシ アツノリ 大西 厚範
呼吸器内科 専攻医	ハラ アヤコ 原 彩子	整形外科 専攻医	ハシモト クニヒコ 橋本 国彦
糖尿病内科 専攻医	マサキ ユズキ 正木 ゆずき	外科 専攻医	クワハラ リュウイチ 桑原 隆一
小児科 専攻医	ヤマグチ トモヒロ 山口 智裕	外科 非常勤医	マエシマ ヨシノリ 前島 純典
臨床研修医	イワモト マサノリ 岩本 督徳	臨床研修医	スズキ ヒロフミ 鈴木 啓史
臨床研修医	オカモト ソウイチロウ 岡本 聡一郎	臨床研修医	マツムラ フミタカ 松村 史隆
臨床研修医	オガワ タカオ 小川 恭生	臨床研修歯科医	ドイ モトシ 土井 基司
臨床研修医	コバヤシ ケンイチ 小林 健一		
臨床研修医	ホツタ マサシ 堀田 将志		
中央検査室 非常勤医	ソン ミサ 宋 美紗		

市民公開講座からのお知らせ

市立伊丹病院 転倒予防チーム参加

『人はなぜ転ぶのか？

転ばないための体づくり』

日時 平成 25 年 6 月 20 日 (木)
14 時～15 時 40 分

場所 スワンホール 3階多目的ホール

内容 「ロコモティブシンドロームについて」

「転倒はこうして起こる 生活の注意点」

「転倒しない体づくり」

市立伊丹病院 市民公開講座

『内視鏡センター開設記念講演会』

日時 平成 25 年 7 月 27 日 (土)
14 時より開演いたします

場所 スワンホール 3階多目的ホール

演者 副院長

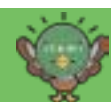
兼 内視鏡センター長

つつい しゅうさく
筒井 秀作

～保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～

2020年のオリンピック・パラリンピックを日本で！

伊丹市はオリンピック・パラリンピック東京招致を応援しています



伊丹市キャラクター たみまる